

(様式 1)

令和 4 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立隅田小学校
校長名	浮津 あゆみ

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・国語では、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の観点において全学年で全国平均を上回っている。・算数では、知識・技能、主体的に学習に取り組む態度の観点において、全国平均および目標値を上回っている。	<ul style="list-style-type: none">・理科では、思考・判断・表現の観点において全国平均の近似値か下回る数値である。結果予測や知識を応用した考えを表現する力が弱い。・いずれの教科でも、記述回答の正答率が目標値と同等かそれ以下の水準にある。・いずれの教科も習熟度の差が激しいため、個に応じた指導を一層充実させた授業を行う必要がある。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・全学年において、「対話・話し合い」の数値が全国平均と同等または高くなっており、友達と話し合う授業を楽しんでいる児童は 80% を上回っている。・ほとんどの学年で「先生のささえ」の数値が全国平均と同等または高くなっており、教員との良好な関係が築けていると言える。	<ul style="list-style-type: none">・話し合いの中で自分なりに考えて意見を発言している児童が少なく、特に 5・6 年では 45% 以下となっている。話し合い活動の質の向上を目指す必要がある。・学年が上がるにつれて「学習意欲」「学習習慣」の数値が低くなっている。特に、SNS、ゲーム、テレビ等に関わる時間については多くの学年で全国平均を超えている。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・いずれの教科においても、タブレット端末やプロジェクター等の ICT を活用した指導法を充実させることができた。・振り返りシートや学力調査の過去問題、自作の類似問題等に取り組み、対策を講じることができた。	<ul style="list-style-type: none">・過去問題実施後の解き直しが定着しておらず、習熟に向けての取組としては不十分である。・時間の厳守、学習用具の準備、話を聞く態度等に課題のある児童も少なくない。全校的な学習規律の見直しが必要である。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 確かな学力の定着と授業力向上・授業改善

①教員の相互授業参観・OJT の取組

- ・教員をチームに分け、相互に授業を参観する。年に3回相互参観の時間を設定し、チーム内で成果と課題、改善策について検討する。

②計画的で分かりやすい授業づくり

- ・「学習のきまり」に基づき基本的な授業展開を統一する。ねらいの提示・自力解決・友達との共有・問題の演習・まとめ・振り返りの内容で構成した授業作りを、全教員が心掛ける。
- ・既習学習の習熟の理解をより確実にするために、授業の前後に振り返りシートを活用する。

③ICT 機器を活用した授業の展開

- ・学習支援アプリを活用し、考えの道筋を明確にすることで、思考力・表現力を向上させる。
- ・個に応じたドリル問題に取り組みせることで、基礎基本事項の習熟を図る。

(2) 「主体的・対話的で深い学び」の推進

①話し合い活動の場の設定

- ・意欲的に自らの意見を交流できる課題を意図的に提示する。
- ・校内研究授業で話し合いの場を設定する授業提案をし、効果的な手立てや課題の共通理解を図り、全教員で取り組む。

②自らの意見を表現できるようにする手立て

- ・自信をもって意見を伝えられるようにするために、自分の考えを構築する時間やその考えの変容を捉える時間を確保する。
- ・表現力を高めるために、言語活動の年間計画を作成し、音読・試写・川柳・読書等に取り組みさせる。高学年では、「よむよむシート」を活用し自分の意見を表現する活動を継続的に行う。

(3) 「学習習慣定着への取組」

①「早寝・早起き・朝ごはん」による規則正しい生活習慣、「家庭学習の手引き」に基づいた家庭学習習慣確立の呼びかけ

②タブレット端末等を活用した家庭学習の実践

- ・タブレットを活用し、ドリル学習・音読・日記・調べ学習等、児童が家庭で自主的に取り組める課題を提示する。

③補習教室の実施

- ・主にCD層児童を対象とした少人数体制での補習教室を放課後および夏季休業中に実施する。また、1～3月に4年生を対象にチャレンジ教室を実施する。算数科を中心とし、習熟が不十分な内容に繰り返し取り組みせることで徹底習熟を図る。

3 「令和5年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・全学年において全観点が全国平均を上回る。
- ・各学年、国語、社会、理科におけるCDE層40%以下、算数、英語におけるCDE層35%以下にする。